

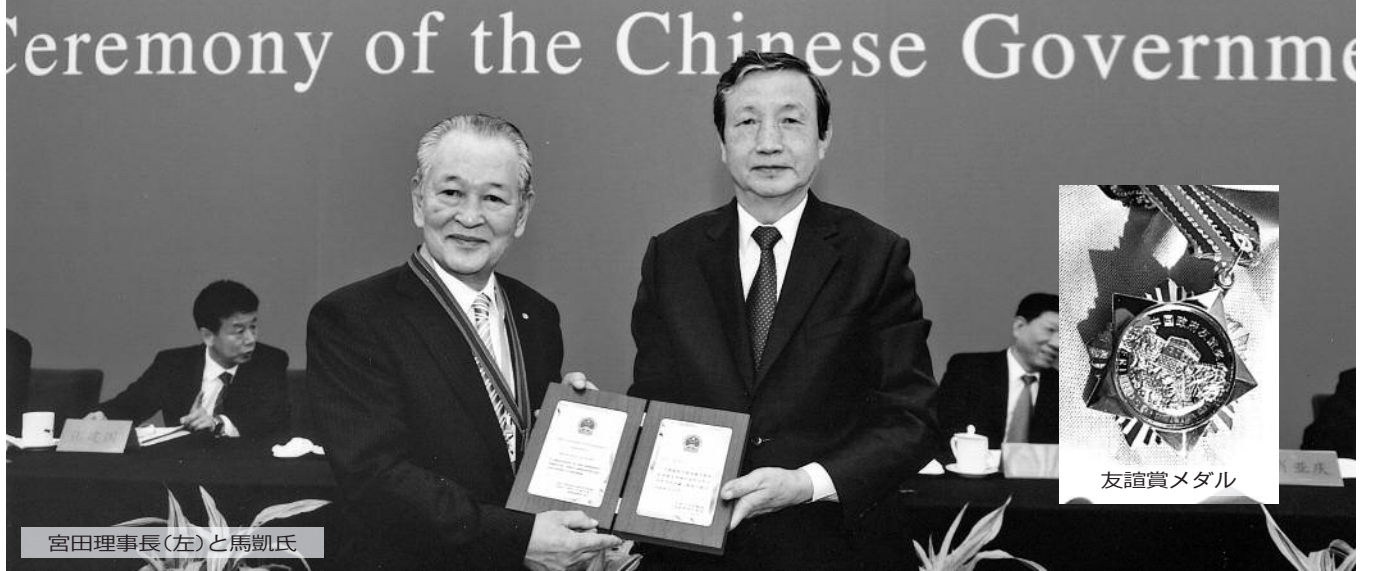


Contents

- 1 躍進する明海大学の国際交流
- 2 歯学部「子ども大学にしているま」開校
- 3 浦安キャンパス公開講座
- 4 歯学部交換研修プログラム
- 5 HT学部社長講座
- 6 震災復興ボランティア
- 7 明海スポーツ
- 8 歯学部第42回「けやき祭」

躍進する明海大学の国際交流

宮田理事長が「中国国家友誼賞」を受賞



宮田理事長(左)と馬凱氏

本学は建学の精神「社会性・創造性・合理性を身につけ、広く国際未来社会で活躍し得る有為な人材の育成」を柱に、国際性を未来指向で捉え、世界各国・地域の協定校・交流校と積極的に教育研修プログラムや幅広い学術連携、人的関係を構築するなどさまざまな取り組みを実践してきた。この度、このような取り組みや功績が認められ、宮田脩理事長が、中国の教育分野における発展と人的交流による日中友好を推し進めてきたとして中国国家友誼賞を受賞した。

宮田理事長は、9月28日、北京人民大会堂で行われた授賞式に出席し、党中央委員会の馬凱氏から友誼賞が授与された。中国国家友誼賞とは、中

国の社会開発、経済、科学技術、教育、文化などの発展に長年にわたり貢献した外国人専門家に与えられる最高位の名誉ある賞で、授賞式は中国において国慶節の祝賀行事の一つとなっている。今年度は22か国、総勢41人が授賞式に臨んだ。

翌29日には、温家宝首相との面会および首相に招かれての晩餐会に出席。晩餐会は国慶節祝賀行事のひとつとして北京の人民大会堂で盛大に執り行われ、各国の閣僚や大使、経済界からスポーツ、芸能分野まで内外より約2,000人が招待され、受賞者を囲んでの記念撮影も行われた。

宮田理事長は「明海大学では若い世代に教育・研究面での相互交流の

機会を提供してきた。この若い世代の継続的な交流が両国の発展と良好な関係構築に繋がっていくと確信している。中国内では北京大学同様、第四軍医大学(西安)とも相互交流を行っており、また米国ではUCLA、テキサス大学、アラバマ大学等とも相互交流を行っている。近い将来、両大学が築いてきた国際交流を礎とした国際歯科医療フォーラムを開催することで、米中をはじめ世界の若い歯科医師が活発に意見交換できる場も提供していきたいと考えている。歯科教育分野において、我々の継続的な国際交流により、世界の国々との良好な関係を築いていきたい」と語った。

歯学部

「子ども大学にしているま」開校

10月6日から11月24日までのうち計4日間、城西大学および近隣地域の教育委員会などと協力して「子ども大学にしているま」を開校。ここでは10月6日に本学坂戸キャンパスで行われた講義の様子を紹介する。

「子ども大学」は埼玉県に所在する大学や市町村、企業・NPO、県が連携して、子ども（原則として小学校高学年）の知的好奇心を刺激する学びの機会を提供するもの。小学校では教えないような課題を取り上げて大学教授や地域のプロフェッショナルが分かりやすく指導する。

当日は、40人の子どもたちが受付で配付された白衣に身を包み、入学式・記念撮影などを行った後、「X線って何だろう？」「超音波でからだの中をのぞいてみよう！」「骨は生まれ変わる！」と題した講義を受講。超音

波を皮ふに当てて自分の血管を観察したり、骨が生まれ変わるしくみなどを学んだ。子どもたちは初めて体験する大学での講義に最初は緊張しながらも、初対面の参加者同士で交流を楽しむ姿や、講義内容について積極的に質問する姿などが多く見られた。

参加した子どもたちからは、「自分のからだのしくみを学んだり、超音波で皮ふの内側を観察したり、小学



超音波でゼリーのの中身を観察

校ではできない体験ができて楽しかった」「もっと深く学んでみたいと思った」などの声が聞かれ、一緒に見学していた保護者にも大好評だった。

アジア最大級の祭典「JATA旅博2012」

ホスピタリティ・ツーリズム学部がブース出展

アジア最大級の旅の祭典である「JATA旅博2012」が、9月21日から9月23日までの3日間にわたり東京ビッグサイトで開催され、国内の大学からは唯一、本学ホスピタリティ・ツーリズム（以下、HT）学部が

出展した。21日は業界関係者招待日、22日と23日は一般来場者向けとして開催され、過去最大となる約12万5千人が会場におしかけた。

「JATA旅博」の今年度のテーマは「新たな旅文化の創造へ」。156の

国と地域から708企業・団体がブースを出展した。

本学HT学部のブースでは、学生が主体となってグリーンツーリズムの体験レポートや花毛布の実演、世界遺産クイズなどを実施。グリーンツーリズムの体験レポートでは、学生が栃木県足利市名草地区で実際に体験してきた稲作の様子を映像やパネルを使って伝え、ブースを訪れた来



多くの来場者を魅了した本学のブース

場者には収穫したお米の引換券を配付するなど、実社会に生きる学びを存分にアピールした。

学生を指揮した白田眞一教授は「学生たちが学びの中で体験してきたことを形に残すことができた。一人ひとりが大学を背負っているという責任をもって旅博に臨んだため、明海大学HT学部のブランドを確固たるものにできたと思う」と語った。

**浦安キャンパス
公開講座**

ことばの発信力—笑顔と元気を届ける日本語—

浦安キャンパス公開講座が10月20日に開催され、約370人の来場者が会場を埋め尽くした。

明海大学では、地域社会との交流



渡邊氏(左)、金田一氏

を目的として、社会の関心が高く本学教員の研究領域に関連する分野を中心に毎年公開講座を開催している。今年のテーマは「ことばの発信力

—笑顔と元気を届ける日本語—」。日本語研究の第一人者として著名な金田一秀穂氏が「普段着の言葉」と題し、日常の会話でつかわれる「話し言葉」の大切さを解説。続いてNHKアナウン

サーの渡邊あゆみ氏が「言葉が結ぶ絆」をテーマに「情報の正確な伝達や人間関係をスムーズに運ぶためには心のこもった言葉遣いが大切である」と語った。その後、両氏に加え、本学外国語学部日本語学科の井上史雄教授と山下暁美教授が参加し、同学科佐々木文彦教授の司会進行のもとパネルディスカッションが行われ、活発な意見交換がなされた。

ユーモアあふれる講演やディスカッションに会場は終始笑いが絶えず、参加者からは「活字だけに頼らず、気持ちを込めて伝えることを意識していきたい」「先生やスタッフの方の人柄や言葉遣いに、まさに『言葉の発信力』を感じた」といった好評の声が多く寄せられた。

**不動産学部・不動産研究センター主催
環境共生社会シンポジウム開催**

本学不動産学部・不動産研究センター主催の公開シンポジウム「環境共生社会と市民の暮らし」が9月1日、浦安キャンパスで開催され、浦安市民や関係者など約70人が参加した。最初に浦安市の中山高樹市長公室長が震災復興に向けた取り組みの現状について報告した後、阪本一郎不動産学部教授が「環境共生のまちづくりと市民の暮らし」と題して基

調講演。その後、本学関係者による講演がリレー形式で行われた。浦安市が以前にも増して魅力的な街となるためのキーワードとして「環境との共生」が注目されている。

中城康彦不動産学部長は、今後の展開について「浦安市の復興の背後には地元明海大学の大きな貢献があったと後世の人に言われるよう努めたい。地元市民との情報共有は何よりも大切なポイント。今後も機会をとらえて情報の発信をしていきたい」と話した。



中城学部長

**「マイホームを買う前に聞いて安心講習会」
前向きに資金計画を考えるきっかけに**

本学不動産学部と千葉県（建設・不動産業課）、千葉県宅地建物取引業協会、全日本不動産協会千葉県本部による千葉県不動産取引研究会主催の「マイホームを買う前に聞いて安心講習会」が、9月22日に浦安キャンパスで開催され、多くの地域住民の参加があった。

本研究会では、産・官・学が協力して不動産取引に関わる共同研究に取り組んでおり、同講習会は、「消費

者に対する不動産学教育」の観点から先駆的な取り組みとして注目されている。

当日は、不動産学部から柴由花准教授が「マイホームの資金計画と税」と題して講演し、詳しい資料による解説を交えた内容に参加者は真剣な様子で聞き入っていた。

参加者からは、「資金計画を前向きに考えるきっかけとなった」など、好評の声が多く寄せられた。

歯学部交換研修プログラム

北京大学口腔医学院、メキシコ州立自治大学の交換研修生が参加

9月9日から13日にかけて、北京大学口腔医学院から研修生6人とインストラクター1人、そして9月29日から10月3日にはメキシコ州立自治大学から研修生10人とインストラクター2人が短期研修で本学を訪れた。これは、国際交流の一環として両大学が教員、学生を相互に派遣して教育・研究の発展や親交を深めることを目的に毎年行われている。

研修生らは、本学歯学部の教育・臨床についての講義を受講した後、付属病院などの施設見学を行った。研修期間中は、今年の夏に両大学の海外研修に参加した本学在学学生らが中心となり世話役を務めるなど、学生同士の活発な交流がなされた。

引率したメキシコ州立自治大学の



付属病院を見学するメキシコ州立自治大学研修生

マルコ・アントニオ教授は「明海大学の教職員と学生から受けた心遣いに変感謝している。明海大学は歯科医療について先進的な技術を持つ

ている。今後も相互に協力し合い、この交流をさらに発展させていきたい」と話した。

9月入学式

世界各国から留学生が入学

明海大学は世界中の国と地域から800人を超える外国人留学生を受け入れており、9月に浦安キャンパスで行われた入学式では、世界各国からの留学生が入学した。

別科生、交換留学生など入学式

20日に、別科日本語研修課程入学式が行われ、別科日本語研修課程学生14人、海外協定校の特別聴講学生7人、セントラルフロリダ大学の交

換留学生1人、合計22人の留学生が入学した。式では安井利一学長がいさつし、「広い視野で物事を見る力を身につけ、明海大学での生活を豊かなものにしてほしい」と留学生を激励した。



期待を胸に入学

IESプログラム生入学式

6日に12年度秋学期 I E S 日本語教育プログラム入学式が行われ、I E S 特別聴講学生9人が入学した。式には安井学長をはじめ、柳澤好昭 I E S 日本語教育プログラム運営委員長ら教職員、I E S 東京センターのカール・フライデー所長が出席。学生を代表してパオレッタ・マリアラニさんは、「この素晴らしいチャンスを活かし、日本人の友人をたくさ

んつくりたい。また、日本語だけでなく日本の文化や生活にも触れたい」と抱負を述べた。

在学中は日本語学科、英米語学科およびホスピタリティ・ツーリズム学科の学生が「会話パートナー」となり I E S 特別聴講学生の学生生活全般をサポートするなど、国際交流の機会を豊富に提供している。

ホスピタリティ・ツーリズム学部
社 長 講 座

ブライダル大手「目黒雅叙園」社長らが講演

エアラインや旅行、ホテル業界などに高い就職実績を誇るホスピタリティ・ツーリズム（以下、HT）学部



講義する目黒雅叙園の梶氏

の授業科目「特別講義Ⅱ（通称：社長講座）」では、日本のHT業界を代表する企業の経営トップを招き、オムニバス形式で業界の動向や仕事に対する心構えなどを学ぶ。10月は11日に㈱目黒雅叙園代表取締役社長の梶明彦氏、18日に㈱びゅうトラベルサービス代表取締役社長の高橋敦司氏、25日に日本航空㈱代表取締役会長の大西賢氏を招き講義が行われた。

目黒雅叙園の梶氏

は、ブライダル産業の現状や求める人材について触れ、「婚礼スタイルの多様化により、婚礼に関する知識や技術だけでなく、高いコミュニケーション能力や企画提案力が求められている」と力強く語った。

＜今後の社長講座の主な予定＞

日程	講師(敬称略)	企業名・役職名
11月8日	小林 哲也	㈱帝国ホテル 社長 HT学部客員教授
11月15日	三橋 滋子	㈱TEI 会長
12月13日	田川 博己	㈱JTB 社長 HT学部客員教授
12月20日	石田 洋子	雲仙旅館 東園 女将

就職戦線を乗り切れ！

学内企業セミナー開催

9月25日・26日、浦安キャンパスで4年生対象の学内企業セミナーが開催された。このセミナーは、明海大生を積極的に採用する企業を招いて、それぞれの企業が求人に関する会社説明を行うもので、金融業、不動産業、サービス業などから2日間で60社が参加。毎年多くの学生がこのセミナーをきっかけに内定を得ており、今年も学生たちは積極的に企業ブースをまわり、人事担当者の話を熱心に聞いていた。

学生からは「人事担当者の中には卒業生もおり、詳しく説明が聞けて大変参考になった」「志望業種の視野が広がった」などの声が聞かれ、本セミナーが充実した内容であったことがうかがえた。

このほか、9月から10月にかけてさまざまな就職支援プログラムが実施された。

(右図参照)

11月以降もこれから就職戦線に挑む3年生、そしてラストスパートとなる4年生の就職活動を全面的にバックアップしていく。



採用担当者の話を熱心に聞く学生たち

9月・10月に行われた主な就職支援プログラム

■3年生対象

- 9月3～7日 就職筆記試験（SPI）対策講座
- 10月4日 就職ガイダンスⅣ（リクルートスーツ着こなし対策）
（就職活動振り返り対策）
- 10月11日 女子学生ヘア&メイク講座
- 10月18日 就職ガイダンスⅤ（エントリーシート対策）

■4年生対象

- 10月28日 がんばろう千葉！合同企業説明会2012

震災復興ボランティア 継続的な支援活動へ

昨年発生した東日本大震災から、
 本学では継続的な被災地支援活動を
 推進している。今夏も多くの学生有
 志が岩手県釜石市において活動を行
 った。

被災地復興の想い新たに

8月22日から26日にかけて、総合
 教育センターボランティア活動推進
 専門委員会の呼びかけによる学生有
 志11人が引率教職員とともに東日本
 大震災復興支援ボランティア活動
 を行った。釜石市での復興支援活動は
 昨年の夏にも実施しており今回が2
 回目の実施となる。

一行は鶴住居地区にある宝来館付
 近の松林の草刈りに加え、地元の子
 どもたちが海と触れ合う体験型学習
 のプログラムにサポートスタッフと
 して参加した。参加した学生からは、



ボランティアを通じて被災地に活力を

「震災から1年以上経過し、被災地
 の現状やニーズを知ることができま
 した。こういった地道な活動が復興
 の原動力になると思うので、この経
 験を絶対に忘れることなく、多くの
 人に伝えていきたい」と被災地復興
 の想いを新たにしました。

観光客誘致案の課題が 与えられる

9月11日と12日の2日間、ホスピ
 タリティ・ツーリズム（以下、HT）
 学部の上杉恵美准教授のゼミを中心
 とした学生11人が釜石市の鶴住居地
 区でボランティア活動を行った。

同ゼミ生らは今年の6月にも「JR釜
 石線蒸気機関車SL銀河ドリーム号
 キャンペーン」において観光客を釜石
 市独自のおもてなしで迎えるなど、HT
 学部の特色を活かした支援活動
 を実施した。今回は、未来の日本を支
 える子どもたちの健やかな成長を支
 援したいとの想いから、被災地の子
 どもたちとさまざまな遊びを一緒に行
 い、「放課後子ども教室」のサポートを
 行った。さらに、来年の夏に海開きを目
 指す海岸や森林の清掃活動や、地
 元の方々と一緒に郷土料理を作るな
 ど交流も深めた。また、宿泊した宝
 来館の女将さんからは、「未来の釜
 石」をテーマに「どうすれば観光客が
 増えるか」といったHT学部ならではの
 課題が与えられた。学生たちが日頃
 培った知識や経験を活かし、期待
 に応える企画の提案や実現に向け
 た行動力の発揮が期待される。

学生防犯委員会V5表彰

10月11日、田中俊裕さん（経済学科4
 年）が代表を務める浦安市学生防犯委員
 会「V5*」が平成24年度防犯功労団体表彰
 を受賞した。同賞は千葉県内の安全のため
 に多年にわたり防犯に貢献した団体を表彰
 するもので、公益社団法人千葉県防犯協会、
 千葉県少年警察ボランティア協議会、千葉
 県および千葉県警察が主催している。

今回の表彰を受けて代表の田中さんは
 「こうして表彰をいただけたことはとても
 光栄で、嬉しく思います。今後も、浦安
 市役所、浦安警察署の方々、V5のメン
 ーと協力して、地域のみなさんのため
 に安全で安心なまちづくりをテーマに活
 動していきます」と語った。



V5代表を務める田中さん

*V5は浦安市内の4高等学校（県立浦安高校、県立浦安南高校、私立東海大学附属浦安高校、私立東京学館浦安高校）と3大学（了徳寺大学、順天堂大学看護学部、明海大学）の学生によって構成される防犯委員会で、JR新浦安駅や舞浜駅前での防犯キャンペーンや、自転車盗難を防止するワイヤー錠の普及を呼びかけるなど精力的に活動している。

明海スポーツ

MEIKAI
SPORTS

体育会3団体 勝負の秋!

体育会公式ホームページ <http://meikai-sports.jp>

体育会ヨット部

快挙! 両級で全日本インカレへ!

第79回関東学生ヨット選手権大会の決勝が神奈川県三浦郡葉山町・森戸海岸で10月10日から14日まで行われた。体育会ヨット部は春季大会で総合3位に入賞したことで予選を免除され、決勝から参戦した。

470級には山口貴之・宮崎俊介ペア、又村あすか・鈴木一智ペア、波田地由佳・後藤竜佑ペアが、スナイプ級には伊藤雄基・矢萩健生ペア、田上歩・有銘一子ペア、川戸志織・花田昴ペアが出場。470級は、初日から山口・宮崎ペアと波田地・後藤ペアが最高3位につけるなど好スタートを切ったが、2日目に山口・宮崎ペアが調子を崩す展開。しかし最終的には全ペアが安定したレース展開を

みせて4位入賞を果たした。スナイプ級では伊藤・矢萩ペアが全日程を通して上位にくい込み6位入賞。この結果から、本学は総合5位入賞となり、470・スナイプ両級での第77回全日本学生ヨット選手権大会(全日本インカレ)出場が決定した。

本学は両級での全日本インカレ出

場は初となり、体育会発足わずか6年目にして快挙を成し遂げた國府田由隆監督は「選手たちの努力もありここまで成長してきたが、本当のスタートは全日本から。そこで勝つことが目標であることを忘れてはいけない」と語り、全日本へ向けての決意を示した。



快挙達成に晴れやかな表情の選手たち

体育会空手道部

男女ともに全日本へ!

第55回関東大学空手道選手権大会が10月8日に行われ、男子団体組手がベスト8に、女子団体組手は2回戦で大正大学に敗れたものの、男女とも11月18日に行われる第56回全日本大学空手道選手権大会への出場が決定した。

上妻優介監督は「まずは男女ともに全日本へ駒を進めたことを喜びたいが、本番へ



男女そろって全日本の舞台へ

これから。強豪大学が出揃う全日本はこれまでより厳しい戦いになるため、部全体が一丸となって挑みたい」と語り、大一番に向けて意気込みをみせた。

ができなかった。

八津川義廣監督は「監督就任以来、1年生から指導してきた選手たちがそろった初めてのチームで、昇格への手ごたえを感じていたが、必ずしも良いチームが勝つとは限らないというサッカーの難しさを味わった。この反省を生かして、来年こそは関東2部リーグに昇格したい」と語った。



悔しさをバネに来年こそ昇格を

体育会サッカー部

千葉1部リーグ惜敗

9月9日から開催されている平成24年度千葉県大学サッカーリーグ秋季1部リーグの第6節が10月14日に

行われた。体育会サッカー部はここまで3勝2分0敗と勝点を積み重ねて首位で最終節を迎えたが、勝点2差で2位についていた中央学院大学に0-1で敗れ優勝を逃し、関東大学サッカー大会への出場権を得ること

歯学部第42回「けやき祭」

地域住民・学生らが交流深める

10月5日から7日にかけて、歯学部最大のイベントである坂戸キャンパス学園祭「けやき祭」が開催された。本学創立とともに歩み、今年で42回目を迎えたけやき祭は、テーマを「人繋ぐそれが明海 けやき祭」と掲げ、連日、多彩なイベントが催され、多くの来場者でにぎわった。

さまざまな模擬店の出店やバスケットボール大会、クイズ大会などが行われ、毎年好評の「骨密度測定」には、多くの地域住民が参加し、学生との交流を楽しむ姿が見られた。また、6日、7日にはオープンキャンパスも同時開催されており、入試相談を終

えた後、けやき祭のイベントを楽しむ高校生の姿も多数見受けられた。

最終日の後夜祭では、軽音楽部のライブやバーベキュー無料食べ放題、ビンゴ大会を開催。最後には人気お笑い芸人

「COWCOW」や「ゆったり感」が出演し、会場は大いに盛り上がった。

けやき祭実行委員長の河方知裕さん（歯学科4年）は「将来、歯科医師になる上で、さまざまな人と触れ合



毎年人気の学生による模擬店

い、いろいろな考えを吸収することはとても大切なこと。けやき祭を通じて先輩や後輩、同級生だけでなく、地域の方とのつながりも深めることができた」と語った。

全日本歯科学生 総合体育大会 結果

第44回全日本歯科学生総合体育大会（以下、歯学体）夏季部門が7月29日から開催され8月12日に無事終了した。歯学体は全国29大学の歯科学生間におけるスポーツ奨励・発展と相互交流・親睦を図り、スポーツを

通して人間形成に寄与することを目的に毎年、夏季と冬季に開催されている。

本学歯学部からは硬式野球部、硬式蹴球部など12部門（約300人）が参加し、ゴルフ部門が優勝、サッカー部門3位、バスケットボール部門、空手道部門4位、硬式野球部門、柔道部門5位、ボウリング部門6位、弓道部門

9位とそれぞれ健闘し、前年度冬季部門の成績と合わせた総合順位は29校中9位となった。

参加した学生からは「他大学の学生と交流することができ、大会を通じて大きな財産を得ることができた。来年度はさらに順位を上げられるよう、日頃から練習を積んでいきたい」という声が聞かれた。

入試日程

浦安キャンパス 外国語(日本語・英語・中国語学科)/経済/不動産/ホスピタリティ・ツーリズム学部

AO入試(12月期)

出願期間 **11/19(月)~11/30(金)**

試験日 **12/ 8(土)**

このほか、スポーツ文化活動特別入試、外国人留学生特別入試も実施します。

坂戸キャンパス 歯学部

AO入試(12月期)

出願期間 **11/26(月)~12/5(水)**

試験日 **12/ 8(土)**

このほか、外国人留学生特別入試も実施します。

オープンキャンパスおよび入試関連イベント

浦安キャンパス 外国語(日本語・英語・中国語学科)/経済/不動産/ホスピタリティ・ツーリズム学部

オープンキャンパス：**11/18(日) 10:30~15:00**

坂戸キャンパス 歯学部 ※要予約 歯学部入試事務室 TEL:049-279-2852

一般入試対策講座：**11/24(土) 13:30~14:45**

学園祭告知

浦安キャンパス「第25回 明海祭」

日 程：**11/2(金)~11/4(日)**

テ ー マ：「Pleasure~25歳になりました~」

~25周年を迎えられる喜び、すべての方々と明海祭を創り上げられる喜びを形に~

主なイベント：模擬店、ライブ、講演会、フリーマーケットなど

詳しくは <http://www.meikaisai.com> をご覧ください。